

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 ヒビノ株式会社  
 コード番号 2469 URL <http://www.hibino.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久  
 問合せ先責任者 (役職名) ヒビノGMC経営企画本部長 (氏名) 大関 靖  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

TEL 03-3740-4391  
 平成24年12月10日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,495	20.0	518	169.2	438	229.2	200	501.1
24年3月期第2四半期	6,245	△13.0	192	△3.2	133	12.3	33	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 195百万円 (665.5%) 24年3月期第2四半期 25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	40.59	—
24年3月期第2四半期	6.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,838		4,013			31.3
24年3月期	13,370		3,903			29.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,013百万円 24年3月期 3,903百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	2.7	600	16.4	470	9.1	200	—	40.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	5,547,840 株	24年3月期	5,547,840 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	627,598 株	24年3月期	606,098 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	4,927,728 株	24年3月期2Q	4,978,245 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつありますが、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高いなかで、世界景気の減速や金融資本市場の変動が、国内景気を下押しするリスクとなっており、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社6社）は、引き続き経費削減を徹底するとともに、グループシナジーの追求、新規市場へのアプローチに取り組みました。また、グローバル展開強化の一環として、中国イベント市場の中長期的な成長を見据え、現地の需要に柔軟に対応するため、平成24年4月より当社連結子会社Hibino Asia Pacific (Shanghai) Limited（ヒビノ アジア パシフィック（シャンハイ）リミテッド）においてコンサート・イベント事業を開始いたしました。

当第2四半期連結累計期間は、震災による設備投資マインド低下やイベント中止等の影響を受けた前年同四半期から経営環境が大幅に改善したことにより、すべての事業において業績が向上いたしました。とりわけ、コンサート・イベント事業がコンサート案件を中心に好調に推移したほか、音響機器販売事業において大型案件を順調に獲得したこと等により、売上高が増加いたしました。利益につきましては、当第2四半期連結累計期間において、たな卸資産廃棄損を売上原価に計上いたしました。売上高の増加と販売費及び一般管理費の削減に伴い、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同四半期を大幅に上回りました。

これらの結果、売上高7,495百万円（前年同四半期比20.0%増）、営業利益518百万円（同169.2%増）、経常利益438百万円（同229.2%増）、四半期純利益200百万円（同501.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [音響機器販売事業]

音響機器販売事業は、リーマン・ショック以降の低迷期を脱し、主要輸入ブランド商品の需要は、着実に拡大しております。放送局をはじめ大型ライブハウスやコンサート音響会社等複数の大型案件を獲得したことから、前年同四半期と比べ大幅な増収となりました。また、当社連結子会社ヒビノインターサウンド株式会社は、携帯デジタル音楽プレイヤーの音質を向上させる機器で定評のあるiBasso Audio（同社取扱い輸入ブランド）と共同で、CD以上の高音質な音源を再生できる携帯デジタル音楽プレイヤーを開発し、発売を開始いたしました。本商品は、高い評価を獲得し、計画していた販売量を上回る売れ行きとなっており、業績向上の一助となりました。

これらの結果、音響機器販売事業の売上高は2,742百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

#### [映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、顧客企業における設備や広告宣伝への投資は依然として抑制傾向が続いており、市場環境は一進一退で推移しております。さらに、安価な海外製品の流入による競争激化もあり、予断を許さない状況が続いております。こうした環境下、新設、更新需要を着実に取り込み、東京・新宿に開業した大型商業施設や秋葉原の大型街頭ビジョン等に当社グループ製LEDディスプレイ・システムを納入することができました。また、市場の変化や多様化する顧客ニーズに対応すべく、高付加価値かつ価格競争力を備えた製品の開発を鋭意進めております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、映像製品の開発・製造・販売事業の在庫について厳格に評価した結果、たな卸資産廃棄損として124百万円を売上原価に計上しております。

これらの結果、映像製品の開発・製造・販売事業の売上高は436百万円（前年同四半期比36.4%増）となりました。

#### [コンサート・イベント事業]

コンサート・イベント事業は、引き続き活況を呈しているコンサート市場を背景に、ドーム、アリーナ等の大型コンサートツアーを多数獲得し、コンサート音響及びコンサート映像が好調に推移いたしました。年度初めよりコンサートツアーが活発に動き出しフル稼働状態が続いていることや、一案件当たりの受注規模が拡大したことが、業績の上積みにつながりました。さらに、震災の影響でイベントの中止が相次いだ前年同四半期と比べ、企業イベントや展示会、医学関連学会案件等の売上も拡大いたしました。また、4月よりコンサート・イベント事業を開始したHibino Asia Pacific (Shanghai) Limited（ヒビノ アジア パシフィック（シャンハイ）リミテッド）においては、北京モーターショーの映像演出を受注し順調な滑り出しを見せました。損益面においても、利益率の高いコンサートをはじめとした大型案件売上の伸長が、利益拡大に貢献いたしました。

これらの結果、コンサート・イベント事業の売上高は4,316百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。

## [その他の事業]

その他の事業の売上高は、ありませんでした。(前年同四半期は売上高は、ありませんでした。)

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は12,838百万円となり、前連結会計年度末と比べて531百万円減少しました。これは現金及び預金並びに仕掛品が減少したことが主な要因であります。

負債合計は8,825百万円となり、前連結会計年度末と比べて641百万円減少しました。これは短期借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産合計は4,013百万円となり、前連結会計年度末と比べて110百万円増加しました。これは利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績が堅調に推移しておりますが、事業環境が引き続き流動的であることを踏まえ、売上高14,500百万円(前連結会計年度比2.7%増)、営業利益600百万円(同16.4%増)、経常利益470百万円(同9.1%増)、当期純利益200百万円(前連結会計年度は当期純損失13百万円)と修正しております。

詳細につきましては、平成24年10月29日に公表いたしました「業績予想の修正及びたな卸資産廃棄損の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,844,348	1,457,718
受取手形及び売掛金	2,838,431	3,219,417
商品及び製品	1,673,512	1,572,877
仕掛品	329,936	71,325
原材料及び貯蔵品	428,199	406,919
その他	599,262	608,166
貸倒引当金	△30,854	△38,313
流動資産合計	7,682,836	7,298,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,239,491	1,246,873
減価償却累計額	△736,342	△759,206
建物及び構築物(純額)	503,149	487,666
機械装置及び運搬具	6,253,695	5,990,007
減価償却累計額	△4,811,758	△4,663,481
機械装置及び運搬具(純額)	1,441,937	1,326,526
工具、器具及び備品	796,158	793,788
減価償却累計額	△586,346	△606,982
工具、器具及び備品(純額)	209,811	186,806
リース資産	2,013,815	2,598,857
減価償却累計額	△1,016,820	△1,216,545
リース資産(純額)	996,994	1,382,311
その他	685,187	448,594
有形固定資産合計	3,837,079	3,831,906
無形固定資産		
のれん	40,267	18,883
その他	74,764	65,286
無形固定資産合計	115,031	84,170
投資その他の資産		
その他	1,940,841	1,849,458
貸倒引当金	△205,769	△224,674
投資その他の資産合計	1,735,072	1,624,783
固定資産合計	5,687,183	5,540,860
資産合計	13,370,020	12,838,973

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	797,181	802,794
短期借入金	1,694,296	935,728
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,271,324	1,211,894
リース債務	336,003	352,620
未払法人税等	85,913	210,518
賞与引当金	288,305	316,319
その他	1,102,513	789,491
流動負債合計	5,585,536	4,619,366
固定負債		
長期借入金	2,224,568	2,193,186
リース債務	789,466	1,133,577
退職給付引当金	792,541	804,710
資産除去債務	13,536	13,611
その他	61,031	61,031
固定負債合計	3,881,144	4,206,116
負債合計	9,466,680	8,825,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,721,487	1,721,487
資本剰余金	2,074,601	2,074,601
利益剰余金	608,196	734,107
自己株式	△366,848	△378,184
株主資本合計	4,037,437	4,152,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,152	3,425
繰延ヘッジ損益	△1,866	△233
為替換算調整勘定	△138,384	△141,713
その他の包括利益累計額合計	△134,097	△138,522
純資産合計	3,903,339	4,013,489
負債純資産合計	13,370,020	12,838,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,245,359	7,495,135
売上原価	3,986,165	4,920,263
売上総利益	2,259,193	2,574,871
販売費及び一般管理費	2,066,469	2,055,966
営業利益	192,724	518,905
営業外収益		
受取利息	648	470
受取配当金	1,450	1,269
仕入割引	3,649	4,527
為替差益	13,678	—
その他	7,020	9,776
営業外収益合計	26,447	16,043
営業外費用		
支払利息	64,817	58,175
持分法による投資損失	15,132	25,911
為替差損	—	2,850
その他	5,877	9,068
営業外費用合計	85,826	96,006
経常利益	133,345	438,943
特別利益		
固定資産売却益	1,664	—
特別利益合計	1,664	—
特別損失		
固定資産売却損	808	28,798
固定資産除却損	5,584	—
ゴルフ会員権評価損	11,174	—
代理店契約解約損	—	19,194
その他	2,981	—
特別損失合計	20,548	47,992
税金等調整前四半期純利益	114,461	390,950
法人税等	83,510	190,913
少数株主損益調整前四半期純利益	30,951	200,037
少数株主損失(△)	△2,324	—
四半期純利益	33,276	200,037



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	30,951	200,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△646	△2,094
繰延ヘッジ損益	△1,258	1,632
為替換算調整勘定	△3,390	△3,329
持分法適用会社に対する持分相当額	△102	△633
その他の包括利益合計	△5,396	△4,424
四半期包括利益	25,554	195,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,230	195,612
少数株主に係る四半期包括利益	△2,675	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

(自己株式の消却)

当社は、平成24年9月24日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、以下のとおり実施いたしました。

- |               |            |
|---------------|------------|
| (1) 消却した株式の種類 | 当社普通株式     |
| (2) 消却した株式の数  | 500,000株   |
| (3) 消却日       | 平成24年10月9日 |